

令和7年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第二小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 4年生はどの領域においてもおおよそ区の平均正答率に近い数値になっている。
- ・ 5年生はどの領域においても区の平均を上回る数値である。
- ・ 6年生はどの領域でも区の平均正答率を下回るものの、昨年度の区の平均正答率と本校の正答率との差よりも大幅に差が小さくなっている。

(2) 課題

- ・ どの学年も、記述問題が区の平均正答率よりも低くなっている。また、活用能力を問う問題で区の平均正答率よりも低くなっている。資料から読み取った情報を整理し、自分の考えを文章でまとめたり、発展させて考えたりすることに課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

| | 令和7年度結果 | 令和6年度結果 | 令和5年度結果 |
|------|-----------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 第4学年 | 知識・技能 ▽ 思考・判断・表現 ▽ | / | / |
| 第5学年 | 知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ | 知識・技能 ▽ 思考・判断・表現 △ (第4学年時) | / |
| 第6学年 | 知識・技能 ▽ 思考・判断・表現 ▽ | 知識・技能 ▽ 思考・判断・表現 ▽ (第5学年時) | 知識・技能 ▽ 思考・判断・表現 = (第4学年時) |

(2) 分析（観点別）

① 中学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 |
|---|--|
| 目標値を下回る結果が出ている。四方位や買い物調べ、くらしのうつりかわりについては概ね理解できている。安全なくらし（火事）の理解が不十分である。 | 目標値を下回る結果が出ている。店で働く人については概ね理解できている。市の様子の移り変わりについての理解が不十分である。 |

② 高学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 |
|---|---|
| 5年生は目標値を上回っている。くらしを支える水のみ目標値より低い。 6年生は目標値を下回っている。国土、気候、食料生産の理解が不十分である。 | 5年生は目標値を上回っている。くらしを支える水のみ目標値より低い。 6年生は目標値を下回っている。国土、気候、食料生産の理解が不十分である。 |

3 授業改善のポイント（観点別）

(2) 中学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 |
|---|--|
| 問題解決型の学習を通して、用語・語句等の知識を分かりやすく指導する。その際、言葉の意味や事象の背景を理解できるように心掛ける。地図帳の読み取り、地図記号、都道府県については年間を通して繰り返し指導をし、定着を図る。 | 資料の読み取り方の指導を丁寧に行う。社会的事象や課題について自分の考えをもって把握するために、友だちと意見を交流する活動や、体験的活動を多く取り入れる。まとめを自分の言葉で表現できるように繰り返し行っていく。 |

(3) 高学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 |
|---|---|
| 基礎的な用語・語句については、繰り返し指導をし、集めた情報を自分の言葉でまとめる活動が続けることで確実な理解を目指す。また、国土や気候の学習においては繰り返し復習を行い、定着させる。 | 中学年に引き続き、資料の基礎的な読み取りを繰り返し定着させる。その上で複数の資料から読み取ったことを関連付けて考えさせ、説明や議論の活動を行うことで、社会的事象を多面的に捉え、社会への関わり方を選択・判断できる力を養う。学習感想やまとめは、自分でまとめられるように指導する。また、言葉や文章で説明する学習も取り入れていく。 |